

説明資料

三和グローバルビジョン2030
中期経営計画2024（2022-2024）
2022年3月期決算

2022年5月13日

はじめに

1 2021年度実績は過去最高を更新

世界的な原材料高やサプライチェーン問題への対応に各セクターで取組み、売上高・各利益とも過去最高となった

→ 5ページ参照

2 株主還元策を拡充

2021年度配当は、業績が予想以上となり、年間配当を34円から36円に2円増配
新中計における配当性向については、従来の35%目安を40%目安に引き上げ
2022年度配当額は、増益見通しもあり年間45円へと9円の増配を予定

→ 22、23ページ参照

3 新長期ビジョン・新中計策定

2022年度から三和グローバルビジョン2030・中期経営計画2024がスタート
中計では売上・利益・SVA・ROIC・ROEなど主要指標は過去最高を更新する予想

→ 16ページ参照

目次

目次

- 2021年度 通期 (実績)
 - 01 決算ハイライト05
 - 02 売上・営業利益実績 (セクター別)06
- 三和グローバルビジョン2020の振り返り
 - 03 業績推移08
 - 04 主な成果と課題09
- 三和グローバルビジョン2030
 - 05 社会・外部環境11
 - 06 三和グローバルビジョン203012
 - 07 基本戦略13
- 中期経営計画2024
 - 08 位置づけ15
 - 09 数値目標16
 - 10 基本戦略17
 - 11 財務戦略22
- 2022年度 通期 (予想)
 - 12 決算ハイライト25
 - 13 売上・営業利益予想 (セクター別)26
- ◆ 参考資料
 - 01 連結業績の概要 (セクター別)28
 - 02 製品別受注高・売上高(三和シャッター工業).....29
 - 03 製品別売上高 (欧米)30
 - 04 外部環境31
 - 05 主要経営指標32
 - 06 SVAとROICツリー33
 - 07 ESGマテリアリティとKPI34
 - 08 設備投資額と減価償却費35
 - 09 トピックス36
 - 10 外部評価37

三和グループの使命・経営理念



三和グループのPDCA



PDCAにおいては、計画から実行、その後の課題評価、次につなげる改善、対策を行うことが重要です。三和グループ全従業員は、すべての業務において、現状に満足せず問題意識を持って取り組み、努力を積み重ねるというモットーを持っています。従って三和グループでは、PDCAを行動規範の一つとして位置づけています。



「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

2021年度 通期（実績）

三和グローバルビジョン2020の振り返り

三和グローバルビジョン2030

中期経営計画2024

2022年度 通期（予想）

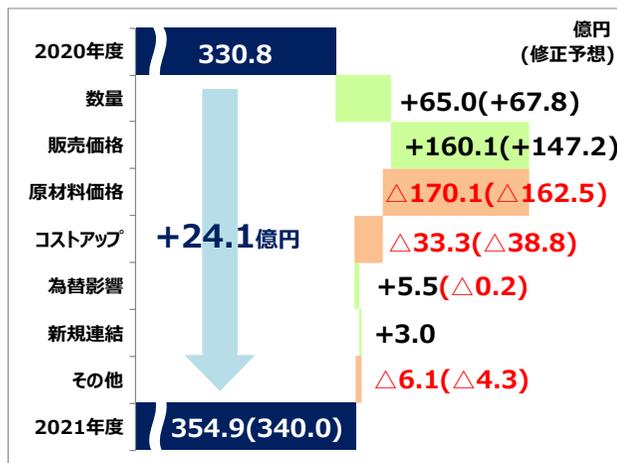
	2020年度 実績	2021年度 実績	2021年度 修正予想	予想比 (額)	前年比 (額)	前年比 (率)
売上高	4,271	4,690 [4,585]	4,570	+120	+419 [+314]	+9.8 [+7.4]
営業利益	330.8	354.9 [349.4]	340.0	+14.9	+24.1 [+18.6]	+7.3 [+5.6]
経常利益	321.4	341.2 [336.2]	327.0	+14.2	+19.8 [+14.8]	+6.2 [+4.6]
親会社株主に帰属 する当期純利益	212.5	228.4 [224.8]	216.0	+12.4	+15.9 [+12.3]	+7.5 [+5.8]

(億円、%)

為替レート	2020	2021
1ドル	106.43	110.37
1ユーロ	121.97	130.34

【 】内は、20年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの（アジア除く）。

営業利益増減分析【連結】



要 約	売上、利益ともに修正予想を上回り、過去最高を記録
売上高	・連結、各セクターとも修正予想、前年を上回った。 コロナ影響があった前年から各セクターともに回復。特に欧米は好調な住宅市場の需要増に応え増収となり、国内各社も順調に推移し、連結売上高として過去最高を記録。
営業利益	・連結、各セクターとも修正予想、前年を上回った。 サプライチェーン問題や大幅な原材料価格上昇がありながらも、適正な販売価格への転嫁や数量効果、生産性改善やコスト削減などにより過去最高益を達成。
経常利益	・営業増益もあり修正予想、前年を上回った。 (持分法投資損益は前年比改善)
親会社株主に帰属 する当期純利益	・修正予想、前年を上回った。 1株当たり利益は100円を突破。

02 売上・営業利益実績 (セクター別)

	【売上高】			【営業利益】			コメント
	20年度	21年度	前年比 (率)	20年度	21年度	前年比 (率)	
日本	2,302	2,364	+2.7	233.0 10.1	244.7 10.4	+5.0	三和シャッターでは需要が強い物流倉庫やメンテサービスの回復などにより増収。材料費が予想以上に上昇したが売価アップに取り組み増益となった。三和システムウォールと鈴木シャッターが数量増により増益。
米州 (ODC)	1,102 1,172	1,261 1,392	+14.5 +18.7	72.7 77.3 6.6	75.9 83.8 6.0	+4.5 +8.3	好調な住宅市場に応え増収。原材料価格の高騰分は売価転嫁と生産性改善等により対応し、サプライチェーンの混乱の影響を受けながらも増益を確保。
欧州 (NF)	592 722	658 858	+11.3 +18.9	25.3 30.9 4.3	30.2 39.4 4.6	+19.1 +27.3	コロナ禍からの住宅市場の需要回復により増収。数量増効果と売価転嫁、生産性改善等により利益も大きく改善。
アジア	66	77	+16.3	▲5.4 ▲8.2	1.2 1.6	(+)	上海宝産三和やビナサンワの回復により前年度から大幅に回復し黒字を確保。
連結	4,271	4,690	+9.8	330.8 7.7	354.9 7.6	+7.3	

※各セクターには、相殺項目があるため、合計しても連結の数値とは一致しません

※欧米欄の上段は外貨建て金額を示す

※営業利益欄の下段は営業利益率を示す

為替レート	2020	2021
1ドル	106.43	110.37
1ユーロ	121.97	130.34

2021年度 通期（実績）

三和グローバルビジョン2020の振り返り

三和グローバルビジョン2030

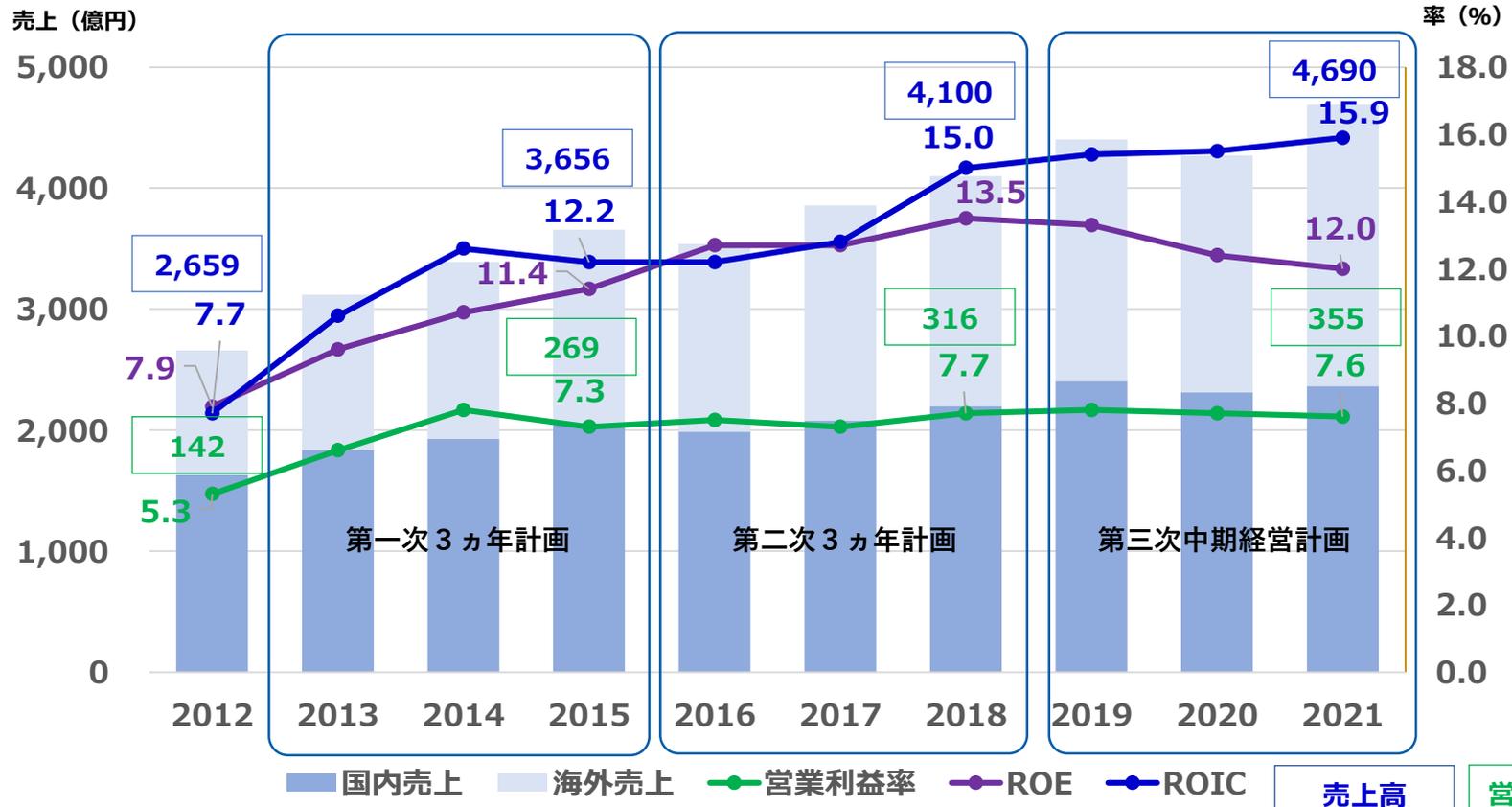
中期経営計画2024

2022年度 通期（予想）

業績推移

- 売上高は、約**2,000億円**増加、特に海外売上高は**2倍**に
- 営業利益率は、**2.3%上昇**
- ROEは、**4.1%上昇**
- SVAは、約**130億円**増加、ROICは、**+8.2%**と大きく上昇
- 時価総額は、**2倍強**の水準

左記数値は全て2012年度対比



ROIC = 税引後営業利益(NOPAT) / 投下資本 × 100

※ ROICで用いる投下資本は、現金および現金同等物、投資有価証券を除いて算定

04 主な成果と課題

三和グローバルビジョン2020の主な成果と課題

	第一次3ヵ年計画 (2013年～2015年)	第二次3ヵ年計画 (2016年～2018年)	第三次中期経営計画 (2019年～2021年)	課題
日米欧の トップブランド確立	<ul style="list-style-type: none"> 売上3000億円突破 国内事業が業績牽引、 一年前倒しで目標達成 	<ul style="list-style-type: none"> 売上4000億円突破 M&Aや工場拡張効果 により欧米事業が好調 	<ul style="list-style-type: none"> コロナにより中計を1年延長 21年度業績過去最高を記録 	デジタル化投資 供給力強化
付加価値商品の提供：防災・減災・環境商品の拡充				
サービス分野の強化		<ul style="list-style-type: none"> 英仏：M&Aによりサービス事業拡大 国内：点検法制化(2016年～)によりサービス増加 	<ul style="list-style-type: none"> 鈴木シャッター買収により 国内サービス事業強化 	サービスの スマート化
サービス売上（連結）：2021年度640億円に拡大				
アジア事業の拡充と 新興国への進出	<ul style="list-style-type: none"> アジア各社の連携強化策推進（調達、品質、輸出など） 	<ul style="list-style-type: none"> 宝産三和、サンワマスの 出資比率アップ 	<ul style="list-style-type: none"> 連結開始（2019年度～） 中国常熟工場の着手 黒字化の達成 	アジア事業の 成長力強化
アジア事業の成長：第4の柱へ				
グローバル市場の 全体最適化		<ul style="list-style-type: none"> 中国調達機能の集約 	<ul style="list-style-type: none"> ドックレバラー、シートシャッター等の欧米間での技術交流 	グローバル 人材力強化

三和グローバルビジョン2030

主なM&A	<ul style="list-style-type: none"> 三和電装エンジニアリング Alpha(欧) 	<ul style="list-style-type: none"> 三和システムウォール Norsud(欧) BGS(欧) 	<ul style="list-style-type: none"> 鈴木シャッター Robust(欧) Won-Door(米) Manuregion(欧)
-------	--	---	--

2021年度 通期（実績）

三和グローバルビジョン2020の振り返り

三和グローバルビジョン2030

中期経営計画2024

2022年度 通期（予想）

2030に向けて、世界を左右する社会課題への認識



三和グローバルビジョン2030

To be a Global Leader of Smart Entrance Solutions

～高機能開口部のグローバルリーダーへ～

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える高機能な開口部ソリューションをグローバルに提供し、サステナビリティ経営と人材力強化により全てのステークホルダーから評価される企業グループとなります。



[ビジョン動画を公開していますので、こちらをクリックしてご覧ください。](#)

基本戦略



1. 日・米・欧・ア 世界4極体制でのコア事業の拡大、強化



2. 防災・環境対応、製品・サービスのスマート化による顧客価値創造



3. デジタル化とものづくり革新による生産性向上



4. M&Aを活用したコア事業強化と新規事業領域への拡大



5. サステナビリティ経営によりグローバルに評価される企業グループへ

2021年度 通期（実績）

三和グローバルビジョン2020の振り返り

三和グローバルビジョン2030

中期経営計画2024

2022年度 通期（予想）

位置づけ

To be a Global Leader of Smart Entrance Solutions

～ 高機能開口部のグローバルリーダーへ ～

位置づけ

気候変動やデジタル化で変化する社会のニーズに応える高機能開口部ソリューションのグローバルリーダーへ向けた基盤を確立する。

基本戦略

- (1) 日・米・欧のコア事業（シャッター・ドア、サービス）の強化、領域拡大
- (2) アジア事業の成長力強化
- (3) 防災・環境対応製品の拡充と製品・サービスのスマート化推進
- (4) デジタル化とものづくり革新による生産性向上
- (5) サステナビリティ経営の推進

数値目標

各セクターの売上・利益、SVA・ROIC・ROEは過去最高を見込む

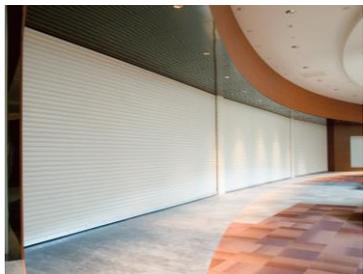
	【売上高】			【営業利益】 (億円、百万\$、百万€、%)				
	21年度	24年度	CAGR (率)	21年度	利益率	24年度	利益率	CAGR (率)
日本	2,364	2,760	+5.3	244.7	10.4	275.0	10.0	+4.0
米州 (ODC)	1,261	1,585	+7.9	75.9	6.0	117.0	7.4	+15.5
	1,392	1,820	+9.4	83.8		135.0		+17.2
欧州 (NF)	658	792	+6.3	30.2	4.6	50.0	6.3	+18.3
	858	990	+4.9	39.4		62.0		+16.4
アジア	77	160	+27.7	1.2	1.6	8.0	5.0	+88.7
連結	4,690	5,800	+7.3	354.9	7.6	450.0	7.8	+8.2

	【指標】		
	21年度	24年度	21年度比
SVA	148億円	190億円	+42億円
ROIC	15.9%	17.5%	+1.6P
ROE	12.0%	13.5%	+1.5P

為替レート	2021	2024計画
1ドル	110.37	115.00
1ユーロ	130.34	125.00

基本戦略① 日・米・欧のコア事業の強化、領域拡大

顧客ニーズに的確かつ迅速に対応し、サービス事業を含めたコア事業の拡大、事業強化を図る



1 シャッター事業・ドア事業のシェア拡大

- ・ 品揃え拡充と提案力強化による非住宅事業の拡大
- ・ 差別化製品とチャネル拡大による住宅事業の拡大
- ・ 事業拡大に向けた体制の強化



2 サービス事業の拡大

- ・ 国内事業における法定検査の定着と経年劣化への修理・取替提案
- ・ 米州自動ドア事業の強化
- ・ 欧州主要市場のサービス事業体制の構築、強化

	2021年(実績)	2024年(目標)	CAGR
連結サービス売上高	640億円	760億円	6.3%



3 M&Aを活用した事業強化と領域拡大

- ・ シャッター、ドア事業、サービス事業などコア事業の強化
- ・ アクセスコントロールなど、建具から周辺事業への展開

M&A投資額
200億円

10 基本戦略②アジア事業の成長力強化

生産・販売体制を再構築しシェア獲得、日米欧に次ぐ第4の柱への基盤構築



1 設備増強による生産能力の大幅アップ

- ・ 中国常熟工場の稼働によるヒンジドア事業のさらなる拡大
- ・ 主要工場の生産設備刷新（ベトナム、台湾、インドネシア）



2 販売体制の見直しと多品種化への対応

- ・ 中国販売体制再編による販売力強化
- ・ 防火、遮熱市場の攻略による売上拡大
- ・ 各地域での多品種化の推進

3 事業体制の基盤強化

- ・ ERPシステム導入および三和上海による集中管理
- ・ 人材育成プログラムの構築



基本戦略③防災・環境対応製品の拡充と製品・サービスのスマート化推進

気候変動やデジタル化などで変化する社会のニーズに応える防災・環境対応製品の品揃え強化と製品・サービスのスマート化を推進する。

1 防災・環境対応商品の拡充

(億円)	2021年 (実績)	2024年 (目標)	CAGR
防災商品	631	810	8.7%
気候変動(適応)対応商品	140	180	8.7%
気候変動(緩和)対応商品	774	960	7.4%
防災・環境対応商品の売上高	1,545	1,950	8.1%

約400億円増加



2 製品・サービスのスマート化を推進

- ・IoT・電動化対応製品の拡充
- ・IoTを活用したサービス事業の拡大

基本戦略④ デジタル化とものづくり革新

業務プロセスのデジタル化推進、生産能力拡大と省力化投資の推進

1 デジタル化の推進

- ・日本：製販工のシステム連携／社内業務のデジタル化
：アプリを利用した業務システムの効率化
- ・米州：ERPとサブシステムによる生産性改善
- ・欧州：社内プロセスのさらなるデジタル化
- ・アジア：ERPによる業務プロセス改善の推進

2 ものづくり革新

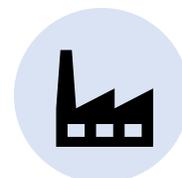
- ・日本：設備の自動化投資、デジタル技術による省力化
：ロボット等による施工生産性の改善
- ・米州：米州地域全体での製造体制の最適化
- ・欧州：欧州レベルでの製造、物流の強化
- ・中国：常熟新工場設立、生産設備の最新鋭化による生産能力拡大



2024年
(3年合計)

設備投資	340億円
IT投資	120億円
投資額	460億円

前中計から約200億円増額



基本戦略⑤ サステナビリティ経営の推進

2022年5月、11個のESGマテリアリティに紐づいた各KPIを設定。
 “サステナブルで住み続けられるまちの実現”へ向けた原動力として、次のステージへ。

ものづくり



- 商品・サービスを通じて
持続可能な社会の実現に貢献

気候変動(緩和・適応)貢献商品 **1,140億円**

防災貢献商品 **810億円**

環境



- Scope1+2 CO2排出量
10%削減
(三和シャッター工業)



- Scope1+2 CO2排出量
30%削減
(三和シャッター工業)

- 水使用量・廃棄物排出原単位
10%削減
(三和シャッター工業)

事業活動に伴う
CO2排出量
実質ゼロを目指す

2050

2030

2024

2022

2021

- ESGマテリアリティ刷新
- FTSEインデックス初選定
- サステナビリティ委員会設置
- TCFDへの賛同表明



- 環境データ収集範囲の拡大(欧米子会社)
- CO2排出量の第三者検証実施
- FTSEインデックス選定
- Scope3 CO2排出量算出(連結)



人



- 女性管理職比率 **15%**(連結)
- 女性従業員比率 **20%**(連結)

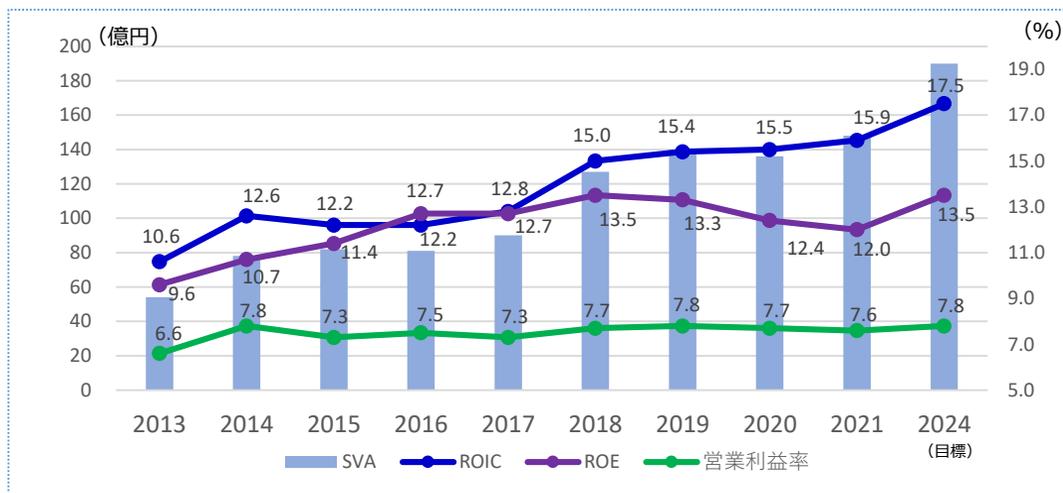
各KPIの詳細は3 4ページ参照 **21**

財務戦略① 主要指標について

SVA、ROIC、ROEなど主要指標のターゲットは過去最高を目指す
キャッシュフローと手元資金水準を考慮し、2022年度から配当性向を40%目安へ

	2021年度実績	2024年度目標
SVA	148億円	190億円
ROIC	15.9%	17.5%
ROE	12.0%	13.5%
配当性向	34.8%	40.0%
D/Eレシオ	0.23	0.21
自己資本比率	52.2%	51.1%

- ・SVA・ROICは順調に改善し、新中計期間中も企業価値を積み上げ
- ・ROEは過去最高水準へ回復
- ・35%目安⇒40%目安へ引上げ
- ・財務上の安全性は十分に確保



・SVA = NOPAT - 投下資本 × WACC (6%)

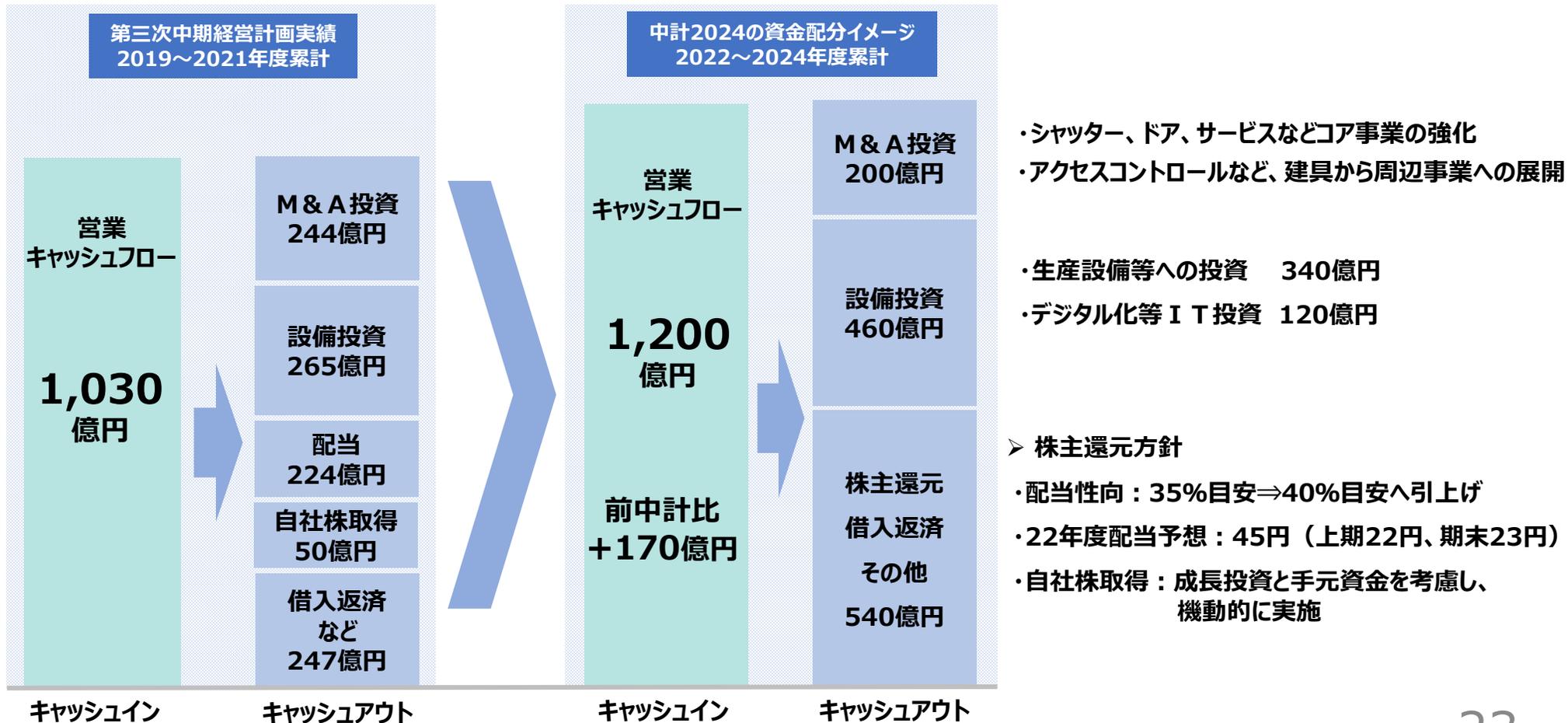
・ROIC = NOPAT / 投下資本 × 100

※1 投下資本 = 運転資本 + 固定資産
= 純資産 + 有利子負債 - (現金同等物 + 投資有価証券)

※2 SVA、ROICで用いる投下資本は、現金および現金同等物、投資有価証券を除いて算定

財務戦略② キャッシュフローの配分について

成長のための設備投資を大幅に増額し、株主還元も積極的に対応



2021年度 通期（実績）

三和グローバルビジョン2020の振り返り

三和グローバルビジョン2030

中期経営計画2024

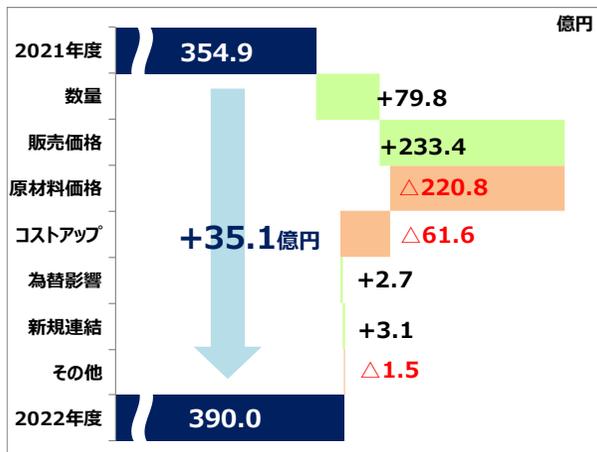
2022年度 通期（予想）

《通期連結予想》	2021年 実績	2022年 通期予想	上期	下期	前年比 (額)	前年比 (率)	(億円、%)
売上高	4,690	5,180 [5,151]	2,440	2,740	+490 [+461]	+10.5 [+9.8]	
営業利益	354.9	390.0 [387.3]	150.0	240.0	+35.1 [+32.4]	+9.9 [+9.1]	
経常利益	341.2	380.0 [377.7]	142.0	238.0	+38.8 [+36.5]	+11.4 [+10.7]	
親会社株主に帰属 する当期純利益	228.4	250.0 [248.1]	94.0	156.0	+21.6 [+19.7]	+9.4 [+8.6]	

為替レート	2021	2022予想
1ドル	110.37	115.00
1ユーロ	130.34	125.00

【 】内は、21年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの（アジア除く）。

営業利益増減分析【連結】



要 約

売上、各利益とも前年比大幅に改善し、過去最高を連続更新
売上は初の5千億円突破、海外比率も初めて50%超を見込む

売 上 高

・2桁増の大幅増収予想
欧米は引き続き旺盛な需要と売価アップ効果により大幅増収見込み。国内は再開発案件やサービス事業の伸びを見込む。

営 業 利 益

・数量増効果が大きく大幅増益の予想
原材料価格は前年以上に大幅な上昇が見込まれ、販売価格への必要な転嫁を進め、生産性の改善などにより最高益を目指す。

経 常 利 益

・営業増益に加えて、持分法適用会社の業績回復もあり増益予想。

親会社株主に帰属 する当期純利益

・増益予想。特別損失は前年並みの見込み。

13 売上・営業利益予想 (セクター別)

	【売上高】			【営業利益】			(億円、百万\$、百万€、%)
	21年度	22年度	前年比 (率)	21年度	22年度	前年比 (率)	コメント
日本	2,364	2,478	+4.8	244.7 10.4	244.7 9.9	△0.0	数量増により増収を見込む。営業利益は事業拡大に向けた先行投資や原材料価格の上昇が大きく、ほぼ前年並みの見込み。
米州 (ODC)	1,261 1,392	1,470 1,691	+16.6 +21.5	75.9 83.8 6.0	100.0 115.0 6.8	+31.7 +37.3	数量増により増収を見込む。引き続き原材料価格の上昇分は販売価格への転嫁で補い、生産性改善により増益を見込む。
欧州 (NF)	658 858	735 919	+11.6 +7.1	30.2 39.4 4.6	36.8 46.0 5.0	+21.9 +16.9	各セグメントともに増収を見込む。原材料価格上昇分は販売価格への転嫁で補い、営業利益率は改善する見込み。ウクライナ情勢の影響については不透明感が残る。
アジア	77	100	+30.5	1.2 1.6	3.0 3.0	+150.3	数量増により増収増益の予想。アジア各社とも黒字予想。
連結	4,690	5,180	+10.5	354.9 7.6	390.0 7.5	+9.9	

※各セクターには、相殺項目があるため、合計しても連結の数値とは一致しません

※欧米欄の上段は外貨建て金額を示す

※営業利益欄の下段は営業利益率を示す

為替レート	2021	2022予想
1ドル	110.37	115.00
1ユーロ	130.34	125.00

參考資料

01 連結業績の概要 (セクター別)

(百万円、%)

	2020年度						2021年度						2022年度(予想)					
	上期		通期		上期		通期		上期		通期		上期		通期			
	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	修正予想	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率			
売上高	190,949		(Δ4.1)	427,061		(Δ3.0)	216,500		(13.4)	457,000		(9.8)	244,000		(12.7)	518,000		(10.5)
[前年為替適用]							[212,830]		[11.5]	468,956		[7.4]	[241,206]		[11.4]	[515,119]		[9.8]
日本	101,308		(Δ1.4)	230,192		(Δ3.8)	105,983		(4.6)	234,222		(2.7)	110,541		(4.3)	247,775		(4.8)
米州 (ODC)	53,877		(Δ4.5)	117,245		(Δ1.0)	64,598		(19.9)	133,570		(18.7)	84,134		(30.2)	169,050		(21.5)
欧州 (NF)	32,206		(Δ11.8)	72,167		(Δ3.7)	41,818		(29.8)	79,750		(18.9)	45,750		(9.4)	91,875		(7.1)
アジア	2,888		(10.0)	6,599		(2.8)	3,286		(13.8)	8,458		(16.3)	3,930		(19.6)	10,017		(30.5)
営業利益	9,579	5.0	(Δ13.4)	33,077	7.7	(Δ3.3)	14,356	6.0	(49.9)	34,000	7.6	(7.3)	15,000	6.1	(4.5)	39,000	7.5	(9.9)
[前年為替適用]							[14,156]		[47.8]	35,487		[5.6]	[14,788]		[3.0]	[38,734]		[9.1]
日本	7,633	7.5	(Δ1.6)	23,298	10.1	(Δ1.9)	9,425	8.9	(23.5)	23,600	10.4	(5.0)	8,449	7.6	(Δ10.4)	24,470	9.9	(Δ0.0)
米州 (ODC)	2,155	4.0	(Δ20.2)	7,733	6.6	(Δ14.4)	3,210	5.0	(48.9)	8,116	6.0	(8.3)	5,290	6.3	(64.8)	11,500	6.8	(37.3)
欧州 (NF)	Δ9	Δ0.0	(-)	3,091	4.3	(Δ16.3)	2,288	5.5	(+)	3,737	4.6	(27.3)	2,037	4.5	(Δ11.0)	4,600	5.0	(16.9)
アジア	33	1.2	(+)	Δ539	Δ8.2	(-)	76	2.3	(124.5)	217	1.6	(+)	79	2.0	(5.0)	300	3.0	(150.3)
経常利益	9,069	4.7	(Δ15.9)	32,142	7.5	(Δ4.0)	13,927	6.4	(53.6)	32,700	7.3	(6.2)	14,200	5.8	(2.0)	38,000	7.3	(11.4)
[前年為替適用]							[13,729]		[51.4]	34,122		[4.6]	[14,021]		[0.7]	[37,766]		[10.7]
日本	7,818	7.7	(Δ1.2)	23,608	10.3	(Δ1.9)	9,584	9.0	(22.6)	23,881	10.5	(5.0)	8,587	7.8	(Δ10.4)	24,750	10.0	(Δ0.2)
米州 (ODC)	1,890	3.5	(Δ19.1)	7,332	6.3	(Δ13.3)	2,819	4.4	(49.1)	7,203	5.0	(Δ5.4)	4,623	5.5	(64.0)	10,476	6.2	(51.0)
欧州 (NF)	Δ303	Δ0.9	(-)	2,746	3.8	(Δ23.2)	2,267	5.4	(+)	3,550	4.5	(41.9)	1,937	4.2	(Δ14.5)	4,387	4.8	(12.6)
アジア	19	0.7	(+)	Δ528	Δ8.0	(-)	60	1.8	(208.2)	147	1.5	(+)	50	1.3	(Δ17.1)	241	2.4	(112.0)
持分法適用会社投資損益	Δ143		(-)	Δ429		(-)	Δ220		(-)	Δ218		(+)	Δ264		(-)	Δ290		(-)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,807	3.0	(Δ16.4)	21,251	5.0	(Δ1.8)	9,135	4.2	(57.3)	21,600	4.9	(7.5)	9,400	3.9	(2.9)	25,000	4.8	(9.4)
[前年為替適用]							[8,985]		[54.7]	22,842		[5.8]	[9,263]		[1.4]	[24,813]		[8.6]
日本	5,165	5.1	(Δ1.1)	16,200	7.0	(0.7)	6,311	6.0	(22.2)	16,231	7.1	(3.7)	5,687	5.1	(Δ9.9)	16,676	6.7	(Δ0.8)
米州 (ODC)	1,371	2.5	(Δ19.9)	2,290	2.0	(Δ63.3)	2,097	3.2	(52.9)	5,397	3.9	(134.8)	3,450	4.1	(64.4)	7,854	4.6	(46.0)
欧州 (NF)	Δ267	Δ0.8	(-)	1,557	2.2	(Δ31.4)	1,726	4.1	(+)	2,450	3.2	(73.7)	1,362	3.0	(Δ21.1)	3,025	3.3	(11.8)
アジア	Δ28	Δ1.0	(+)	Δ640	Δ9.7	(-)	36	1.1	(+)	105	3.8	0.5	32	0.8	(Δ9.2)	175	1.7	(355.1)
持分法適用会社投資損益	Δ143		(-)	Δ429		(-)	Δ220		(-)	Δ218		(+)	Δ264		(-)	Δ290		(-)

<欧米現地通貨>

(千ドル、千ユーロ、%)

	2020年度						2021年度						2022年度(予想)					
	上期		通期		上期		通期		上期		通期		上期		通期			
	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率	修正予想	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率			
売上	\$497,755		(Δ2.9)	\$1,101,623		(1.6)	\$595,649		(19.7)	\$1,272,100		(14.5)	\$731,600		(22.8)	\$1,470,000		(16.6)
欧州 (NF)	€ 269,737		(Δ8.4)	€ 591,680		(Δ3.5)	€ 320,544		(18.8)	€ 638,000		(11.3)	€ 366,000		(14.2)	€ 735,000		(11.6)
営業	\$19,915	4.0	(Δ18.9)	\$72,665	6.6	(Δ12.1)	\$29,603	5.0	(48.6)	\$77,300	6.0	(4.5)	\$46,000	6.3	(55.4)	\$100,000	6.8	(31.7)
欧州 (NF)	Δ€83	Δ0.0	(-)	€ 25,349	4.3	(Δ16.1)	€ 17,543	5.5	(+)	€ 29,900	4.6	(19.1)	€ 16,300	4.5	(Δ7.1)	€ 36,800	5.0	(21.9)

- 2021年度、2022年度の [] 内は、前年為替換算レート (USDドル・ユーロ) を適用した数値を示す。
- 数値は切り捨て。()内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用。
- 三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しない。

為替レート	2020年度		2021年度		2022年度(予想)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
USDドル	108.24	106.43	108.45	110.37	115.00	115.00
ユーロ	119.40	121.97	130.46	130.34	125.00	125.00

02

製品別受注高・売上高(三和シャッター工業)

(百万円・%)

	2021年度										2022年度									
	上 期			下 期			通 期			上 期 (予想)			下 期 (予想)			通 期 (予想)				
	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比
軽量シャッター	(9.8) 12,065	(11.2) 11,811	12.7	(4.7) 12,189	(4.0) 12,303	10.9	(7.2) 24,255	11.4	(7.4) 24,115	11.7	(1.9) 12,300	(3.3) 12,200	12.7	(0.9) 12,300	(1.6) 12,500	10.5	(1.4) 24,600	11.0	(2.4) 24,700	11.5
重量シャッター	(0.7) 13,681	(28.6) 13,148	14.1	(11.1) 14,909	(6.6) 14,761	13.1	(5.8) 28,590	13.5	(15.9) 27,909	13.5	(3.8) 14,200	(1.2) 13,300	13.8	(4.0) 15,500	(2.3) 15,100	12.7	(3.9) 29,700	13.3	(1.8) 28,400	13.2
O S D	(1.4) 2,935	(14.4) 2,535	2.7	(5.8) 2,633	(△7.2) 2,824	2.5	(3.4) 5,568	2.6	(1.9) 5,360	2.6	(2.2) 3,000	(△5.4) 2,400	2.5	(2.5) 2,700	(13.3) 3,200	2.7	(2.4) 5,700	2.6	(4.5) 5,600	2.6
シャッター関連商品	(14.2) 7,532	(12.8) 6,500	7.0	(12.6) 8,043	(18.1) 8,814	7.8	(13.3) 15,576	7.4	(15.8) 15,315	7.4	(6.2) 8,000	(9.2) 7,100	7.4	(3.2) 8,300	(△1.3) 8,700	7.3	(4.6) 16,300	7.3	(3.2) 15,800	7.3
ビル・マンションドア	(△0.1) 26,972	(△4.2) 22,684	24.4	(11.5) 30,391	(△3.0) 30,233	26.8	(5.7) 57,363	27.1	(△3.5) 52,917	25.7	(4.6) 28,200	(1.8) 23,100	24.0	(2.0) 31,000	(11.5) 33,700	28.3	(3.2) 59,200	26.5	(7.3) 56,800	26.4
住 宅 ド ア	(5.2) 1,617	(1.8) 1,573	1.7	(16.6) 1,764	(17.5) 1,780	1.6	(10.8) 3,381	1.6	(9.6) 3,354	1.6	(5.1) 1,700	(1.7) 1,600	1.7	(△3.6) 1,700	(△4.5) 1,700	1.4	(0.6) 3,400	1.5	(△1.6) 3,300	1.5
窓 製 品	(0.0) 4,439	(△0.5) 4,354	4.7	(1.0) 4,418	(0.9) 4,483	4.0	(0.5) 8,858	4.2	(0.2) 8,838	4.3	(3.6) 4,600	(5.6) 4,600	4.8	(6.4) 4,700	(4.8) 4,700	3.9	(5.0) 9,300	4.2	(5.2) 9,300	4.3
エクステリア製品	(1.1) 1,690	(0.2) 1,651	1.8	(0.1) 1,728	(2.8) 1,839	1.6	(0.6) 3,419	1.6	(1.6) 3,490	1.7	(6.5) 1,800	(2.9) 1,700	1.8	(4.1) 1,800	(△2.1) 1,800	1.5	(5.3) 3,600	1.6	(0.3) 3,500	1.6
間 仕 切 製 品	(6.3) 7,207	(15.7) 5,683	6.1	(△2.0) 6,681	(△14.8) 8,086	7.2	(2.1) 13,888	6.6	(△4.4) 13,770	6.7	(9.6) 7,900	(3.8) 5,900	6.1	(21.2) 8,100	(8.8) 8,800	7.4	(15.2) 16,000	7.2	(6.7) 14,700	6.8
ステンレス製品	(△5.5) 3,422	(△15.5) 3,025	3.3	(△4.5) 3,726	(△2.1) 4,191	3.7	(△5.0) 7,148	3.4	(△8.2) 7,216	3.5	(5.2) 3,600	(5.8) 3,200	3.3	(12.7) 4,200	(2.6) 4,300	3.6	(9.1) 7,800	3.5	(3.9) 7,500	3.5
フ ロ ン ト 製 品	(8.0) 1,615	(41.8) 1,553	1.7	(11.9) 1,846	(9.3) 1,874	1.7	(10.1) 3,462	1.6	(22.0) 3,427	1.7	(11.4) 1,800	(9.4) 1,700	1.8	(2.9) 1,900	(1.4) 1,900	1.6	(6.9) 3,700	1.7	(5.0) 3,600	1.7
自動ドアエンジン	(5.8) 1,258	(4.4) 1,168	1.3	(2.7) 1,403	(1.0) 1,396	1.2	(4.2) 2,661	1.3	(2.5) 2,565	1.2	(3.3) 1,300	(2.7) 1,200	1.2	(14.0) 1,600	(7.4) 1,500	1.3	(8.9) 2,900	1.3	(5.3) 2,700	1.3
メンテ・サービス	(5.5) 17,719	(7.3) 16,425	17.6	(5.4) 17,947	(5.0) 19,328	17.1	(5.5) 35,667	16.8	(6.0) 35,753	17.4	(7.2) 19,000	(5.3) 17,300	18.0	(10.9) 19,900	(4.5) 20,200	16.9	(9.1) 38,900	17.4	(4.9) 37,500	17.4
そ の 他	(44.6) 1,039	(△24.3) 954	1.0	(△15.7) 1,008	(△38.3) 1,045	0.9	(6.9) 2,048	1.0	(△32.3) 2,000	1.0	(△3.8) 1,000	(△5.7) 900	0.9	(△0.9) 1,000	(5.2) 1,100	0.9	(△2.4) 2,000	0.9	(△0.0) 2,000	0.9
合 計	(3.9) 103,198	(6.6) 93,070	100.0	(7.1) 108,692	(0.8) 112,964	100.0	(5.5) 211,890	100.0	(3.3) 206,035	100.0	(5.0) 108,400	(3.4) 96,200	100.0	(5.5) 114,700	(5.5) 119,200	100.0	(5.3) 223,100	100.0	(4.5) 215,400	100.0
	21年9月末手持残高			22年3月末手持残高			3月末手持残高 前年同期増減額			22年9月末手持残高(予想)			23年3月末手持残高(予想)			3月末手持残高 前年同期増減額				
手 持 残 高	103,763			96,877			6,741			112,697			104,927			8,050				

1. ()内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

03 製品別売上高 (欧米)

《 ODC Group 業績 》

(千US\$・%)

		2021年度						2022年度(予想)					
		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
製品別売上高	車両アクセス	(15.5)		(12.4)		(13.9)		(25.4)		(5.6)		(15.0)	
		419,209	70.4	463,879	69.7	883,088	70.0	525,500	71.8	489,700	66.3	1,015,200	69.1
	エレクトロニック アクセスコントロール	(29.5)		(△3.4)		(10.0)		(13.1)		(19.4)		(16.4)	
		133,671	22.4	144,290	21.7	277,962	22.0	151,200	20.7	172,300	23.3	323,500	22.0
	歩行者アクセス	(35.0)		(36.7)		(36.0)		(28.4)		(33.8)		(31.5)	
		42,768	7.2	57,104	8.6	99,872	7.9	54,900	7.5	76,400	10.3	131,300	8.9
売上高		(19.7)		(10.2)		(14.5)		(22.8)		(11.0)		(16.6)	
		595,649	100.0	665,273	100.0	1,260,923	100.0	731,600	100.0	738,400	100.0	1,470,000	100.0

1. ()内は前年増減率を示す。
2. 車両アクセスは旧ドア、エレクトロニックアクセスコントロールは旧開閉機、歩行者アクセスは旧自動ドアを示す。
3. 2021年度4月度より、歩行者アクセスにWon-Door社の売上を含めて示す。

《 NF Group 業績 》

(千€・%)

		2021年度						2022年度(予想)					
		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
製品別売上高	ヒンジドア	(14.2)		(0.4)		(6.7)		(10.1)		(4.9)		(7.4)	
		94,166	29.4	98,990	29.3	193,157	29.3	103,700	28.3	103,800	28.1	207,500	28.2
	ガレージドア	(34.7)		(△0.6)		(14.7)		(1.4)		(8.6)		(4.9)	
		92,800	29.0	89,348	26.4	182,149	27.7	94,100	25.7	97,000	26.3	191,100	26.0
	産業用ドア	(12.9)		(12.1)		(12.5)		(25.9)		(12.4)		(18.8)	
		133,577	41.7	149,579	44.3	283,156	43.0	168,200	45.9	168,200	45.6	336,400	45.8
売上高		(18.8)		(5.0)		(11.3)		(14.2)		(9.2)		(11.6)	
		320,544	100.0	337,918	100.0	658,463	100.0	366,000	100.0	369,000	100.0	735,000	100.0

1. ()内は前年増減率を示す。
2. 2021年11月度より、Manuregion社の売上を産業用ドアに含めて示す。

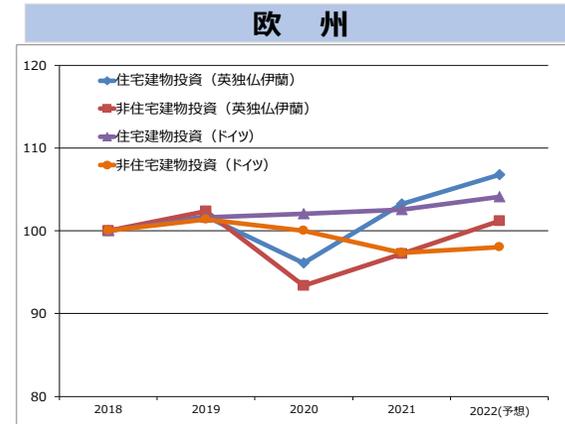
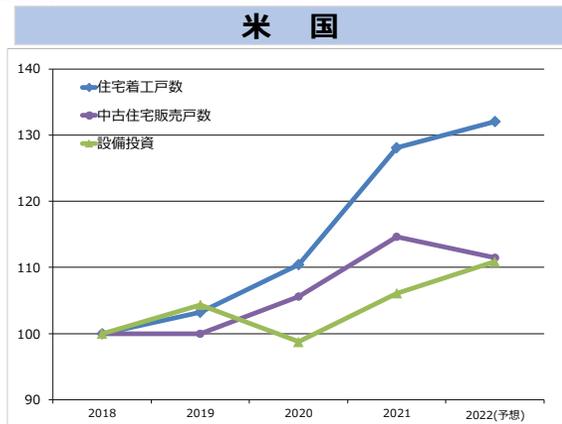
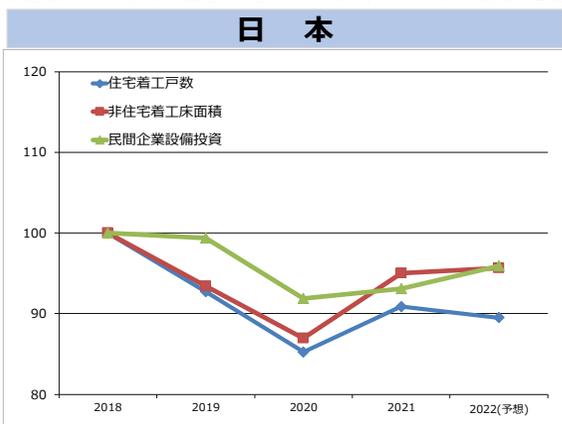
04 外部環境

■ 建設環境

			2018		2019		2020		2021		2022 予想	
			日本	住宅着工戸数	千戸	953	0.7%	884	-7.3%	812	-8.1%	866
	非住宅着工床面積	千㎡	46,037	-2.7%	43,019	-6.6%	40,030	-6.9%	43,738	9.3%	44,044	0.7%
	民間企業設備投資	10億円	91,338	1.2%	90,749	-0.6%	83,942	-7.5%	85,033	1.3%	87,584	3.0%
米国	住宅着工戸数	千戸	1,250	3.9%	1,290	3.2%	1,380	6.9%	1,601	16.0%	1,650	3.1%
	中古住宅販売戸数	千戸	5,340	-3.1%	5,340	0.0%	5,640	5.6%	6,120	8.5%	5,950	-2.8%
	設備投資	10億ドル	2,704	6.4%	2,822	4.3%	2,671	-5.3%	2,869	7.4%	2,998	4.5%
欧州	住宅建物投資 (英独仏伊蘭)	百万ユーロ	554,604	2.4%	564,400	1.8%	532,983	-5.6%	572,585	7.4%	592,164	3.4%
	非住宅建物投資 (英独仏伊蘭)	百万ユーロ	326,139	0.9%	333,922	2.4%	304,462	-8.8%	316,998	4.1%	330,071	4.1%
ドイツ	住宅建物投資	百万ユーロ	222,250	2.2%	225,877	1.6%	226,852	0.4%	227,986	0.5%	231,350	1.5%
	非住宅建物投資	百万ユーロ	98,138	1.1%	99,483	1.4%	98,174	-1.3%	95,512	-2.7%	96,191	0.7%

※出典：(日)国土交通省2022.04、内閣府2022.03、建設経済研究所2022.04 (米)商務省2022.03、National Association of Realtors2022.02、(欧) Euroconstruct2021.11
 ※日本は年度ベース(4-3月)、米欧は暦年ベース(1-12月) 日米の2022設備投資予想はニッセイ基礎研究所2022.03

■ 建設環境の推移 (2018年=100としたときの指数)



05 主要経営指標

(百万円、%)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		2022年度
								修正予想	実績	
売上高	(百万円)	365,615	353,922	385,673	409,990	440,161	427,062	457,000	468,956	518,000
営業利益	(百万円)	26,870	26,440	28,322	31,593	34,218	33,077	34,000	35,487	39,000
親会社株主に帰属する純利益	(百万円)	14,627	17,070	18,280	20,910	21,647	21,252	21,600	22,842	25,000
売上高営業利益率	(%)	7.3%	7.5%	7.3%	7.7%	7.8%	7.7%	7.4%	7.6%	7.5%
ROE：純利益/純資産（期首・期末平均）	(%)	11.4%	12.7%	12.7%	13.5%	13.3%	12.4%	12.0%	12.0%	12.4%
自己資本比率（期末）	(%)	41.7%	43.0%	45.2%	47.4%	46.3%	47.9%	48.0%	52.2%	51.8%
期末純資産	(百万円)	130,334	139,906	151,121	161,604	165,634	181,387	183,264	203,311	203,703
期末総資産	(百万円)	310,269	323,393	331,686	338,432	354,023	375,160	378,000	386,237	390,000
期末有利子負債	(百万円)	70,798	74,739	65,945	61,217	63,730	66,194	45,379	47,706	46,797
DELシオ：有利子負債/純資産	(倍)	0.54	0.53	0.44	0.38	0.38	0.36	0.25	0.23	0.23
SVA(Sanwa Value Added)	(百万円)	8,290	8,057	9,026	12,693	13,974	13,609	14,452	14,784	16,400
ROIC: NOPAT/投下資本	(%)	12.2	12.2	12.8	15.0	15.4	15.5	16.5	15.9	16.1
EPS：1株純利益	(円)	63.1	74.6	80.9	92.9	97.1	96.2	97.8	103.4	113.2
発行済株式数(期中平均)	(千株)	231,923	228,782	225,761	224,979	222,852	220,881	220,892	220,922	220,922

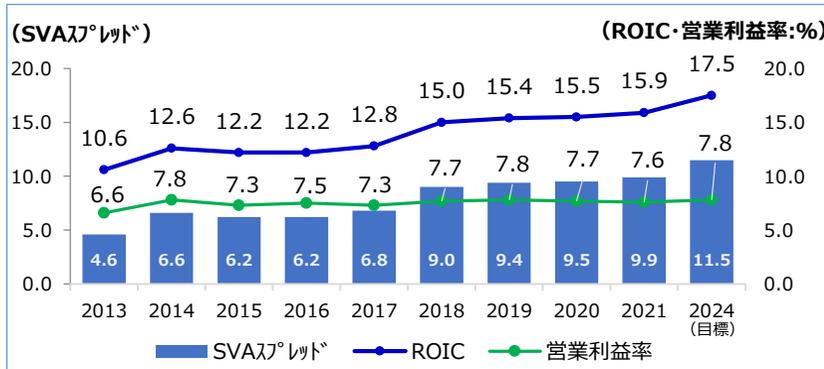
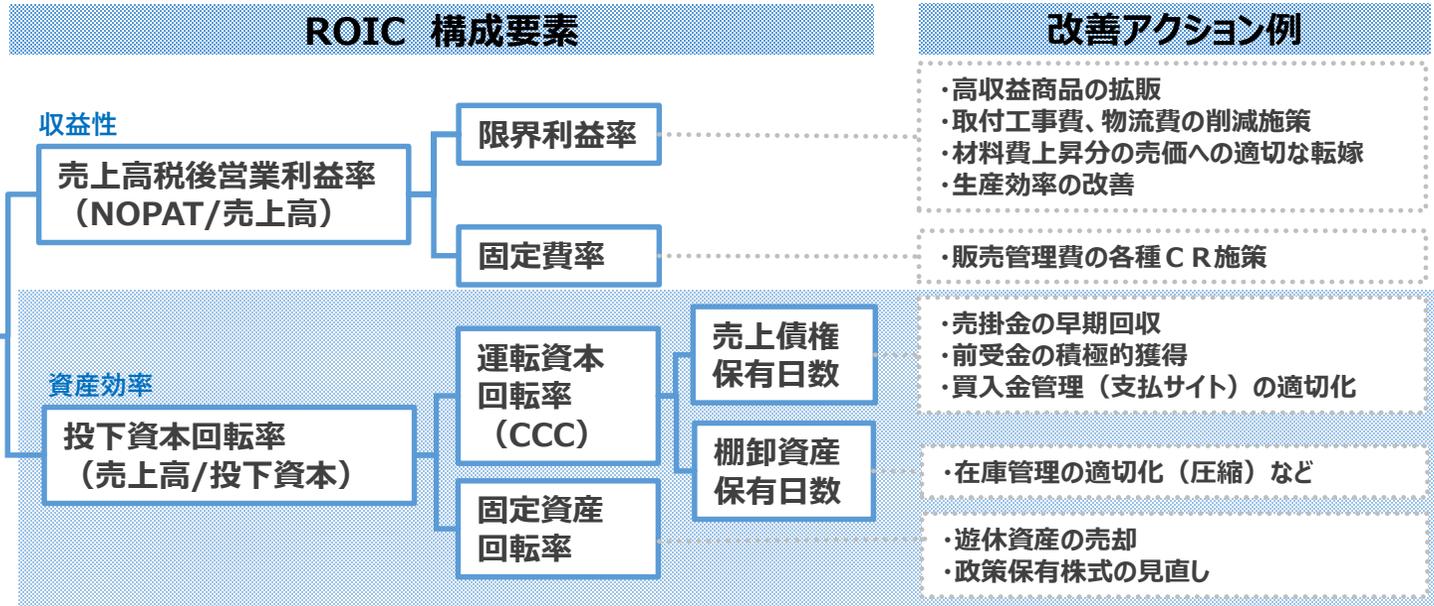
(注) 1. SVAは当社独自方式のEVAの数値。

2. SVA、ROICで用いる投下資本は、現金および現金同等物、投資有価証券を除いて算定

- ・SVAは、当社独自の経済的付加価値指標として2001年より導入2021年度実績148億円、2016年度以降毎年改善
- ・ROICは、下記改善アクション例を各拠点で展開し、社内に資本コスト経営の浸透を図っている

ROICの改善 (NOPAT/投下資本)

WACC : 6%
株主資本コスト : 8%を目処



営業利益率は7%台で推移しているが、資産効率部分の改善が進み、ROICは右肩上がりで改善している。

SVA = NOPAT - 投下資本 × WACC
 ROIC = NOPAT / 投下資本 × 100
 ※ SVA、ROICで用いる投下資本は、現金および現金同等物、投資有価証券を除いて算定

SVAスプレッド = ROIC - WACC (6%)

07 ESGマテリアリティとKPI

サステナブルで住み続けられるまちの実現 ~2050年事業活動に伴うCO₂排出量実質ゼロを目指します~

	ESGマテリアリティ	取り組みテーマ	KPI	対象範囲	貢献するSDGs
社会 	商品、サービスを通じた気候変動・防災への貢献	気候変動の緩和に貢献する商品売上高	960億円（2024年度）	連結	  
		気候変動の適応に貢献する商品売上高	180億円（2024年度）		
		防災に貢献する商品売上高	810億円（2024年度）		
		メンテ・サービス事業売上高	760億円（2024年度）		
	品質の確保・向上	各社の品質方針に沿った品質目標の達成	—————		
環境 	脱炭素社会へ向けた取り組み	CO ₂ 排出量（Scope1+2）の削減	FY2019比 10%削減（2024年度） FY2019比 30%削減（2030年度）	三和シャッター工業	  
	水資源の保全	水使用量原単位（工場・事務所）の削減	FY2020比 10%削減（2030年度）		
	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位（工場・事務所）の削減	FY2020比 10%削減（2030年度）		
人 	人権の尊重	人権リスクの特定、除去、防止	人権デューデリジェンスの実施（2024年度）	連結	  
	人材育成	Eラーニング（英語）受講者数	200人（2024年度）	国内グループ	
		通信教育受講者数	1,000人（2024年度）		
	ダイバーシティの推進	女性管理職比率	15%（2030年度）	連結	
		女性従業員比率	20%（2030年度）	三和シャッター工業	
		男性育児休業取得率	50%（2030年度）		
	安全と健康	肥満率（BMI25以上）	喫煙率	30%（2030年度）	
精密検査（再検査含む）受診率			25%（2030年度）	三和シャッター工業	
有休取得率		60%（2030年度）			
有休取得率		55%（2030年度）			
経営基盤 	コーポレート・ガバナンス	取締役会の実効性向上	—————	三和ホールディングス	  
		取締役会の多様性確保	ボードダイバーシティへの対応（2024年度）		
		ステークホルダーダイアログ実施回数	200回（2024年度）		
	コンプライアンス	コンプライアンス研修受講者数	930人（2024年度）	国内グループ	
IT-BCPの運用と継続的改善		—————			

設備投資額と減価償却費

《連結の設備投資額と減価償却費》

(百万円)

	2020年度		2021年度		2022年度 (予想)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
設備投資額	3,557	8,770	3,789	9,273	6,920	14,100
日本	1,370	3,765	1,245	3,397	2,200	5,400
為替レート ()内は千ドル表示	108.24 (\$12,364)	106.43 (\$27,114)	108.45 (\$13,037)	110.37 (\$23,098)	115.00 (\$20,000)	115.00 (\$36,391)
米州(ODC)	1,338	2,885	1,413	2,549	2,300	4,185
為替レート ()内は千ユーロ表示	119.40 (€6,434)	121.97 (€16,470)	130.46 (€7,681)	130.34 (€21,589)	125.00 (€17,600)	125.00 (€32,312)
欧州(NF)	768	2,008	1,002	2,814	2,200	4,039
アジア	80	110	128	512	220	476
減価償却費	5,797	11,575	6,147	12,950	6,895	14,116
日本	1,403	3,038	1,504	3,190	1,572	3,272
為替レート ()内は千ドル表示	(\$18,613)	(\$34,519)	(\$17,390)	(\$36,384)	(\$19,130)	(\$39,130)
米州(ODC)	2,014	3,673	1,886	4,015	2,200	4,500
為替レート ()内は千ユーロ表示	(€12,871)	(€26,285)	(€13,214)	(€25,655)	(€15,200)	(€31,200)
欧州(NF)	1,536	3,206	1,724	3,343	1,900	3,900
アジア	43	92	41	113	80	158
のれん償却額	797	1,564	991	2,285	1,142	2,285

マルチハザード
対応!

2021年6月
「ウォーターガード 防水シャッター」に
防火・防煙タイプを追加



物流倉庫の
高層部にも!

2021年11月
高強度オーバースライダー
「耐風ガードOSD」を発売



通風・換気で
感染症対策

2021年12月
マンションのリニューアル用
玄関ドア「エクストールチェンジ」に
“通風・換気仕様”を追加



お求めの商品が
より探しやすい!

2022年3月
三和シャッター工業 サイトリニューアル
<https://www.sanwa-ss.co.jp/>



2021年4月

2021年4月
Won-Door 社 (米国)
の株式取得



2021年11月
Manuregion 社 (フランス)
の株式取得



2021年12月
「気候関連財務情報
開示タスクフォース (TCFD) 」
の提言に賛同



2022年4月

2021年12月
太田ドア工場
物流棟に太陽光発電設備を導入



三和グループのサステナビリティへの取り組みや情報開示の姿勢が社外から評価され、国内外のESGインデックスの組み入れや様々な賞を受けるなどの評価を受けています。

ESGインデックスへの選定

FTSE4Good Index Series



FTSE4Good

FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom
Japan

NEW

FTSE Blossom Japan
Sector Relative Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数



主な受賞・評価

CDP2021気候変動
「B」評価



第5回日経スマートワーク経営調査
★3.0



第3回日経SDGs経営調査
★3.5



大和インバスター・リレーションズ
2021年インターネットIR表彰
「優良賞」



日興アイ・アール
2021年度全上場企業ホームページ
充実度ランキング
総合・業種別「最優秀企業」

